

第4回 東備西播定住自立圏形成推進協議会 会議録

- 1 日 時 平成22年2月15日(月) 18:30 ~ 20:00
- 2 場 所 赤穂市役所 2階 204会議室
- 3 出席者
 - (1) 委 員 豆田正明(赤穂市長)
明石元秀(赤穂市副市長)
池田芳伸(赤穂市議会議長)
松原 宏(赤穂市議会定住自立圏構想調査特別委員会委員長)
西岡憲康(備前市長)
森山純一(備前市副市長)
掛谷 繁(備前市議会副議長)
山本 暁(上郡町長)
高橋道夫(上郡町副町長)
田淵重幸(上郡町議会議長)
阿部 昭(上郡町議会副議長)
 - (2) 幹 事 赤穂市:橋企画振興部長
備前市:馬場総務部長
上郡町:松石企画総務課長
 - (3) 事務局及び各市町担当者
赤穂市:三谷企画課長、平野企画係長、中村主査
備前市:里見企画課長、田原企画課長補佐
上郡町:中山企画総務課参事、木村地域振興係長
 - (4) 説明員 ①教育施設部会:満重書記(赤穂市スポーツ振興担当課長)
②農林商工部会:三村部会長(赤穂市農林水産課長)
③観光部会 :安部部会長(赤穂市観光商工課長)
④交通部会 : (里見部会長)、(中山副部会長)、(三谷書記)
⑤通信情報部会:沼田部会長(赤穂市情報政策担当課長)
⑥職員部会 :尾崎部会長(赤穂市人事課長)
⑦交流定住部会:(三谷部会長)、(里見副部会長)、(中山書記)
⑧地域医療 :矢野赤穂市民病院事務局長

4 会議の概要

- (1) 開 会
- (2) 会長あいさつ
- (3) 報告事項
東備西播定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催について
- (4) 協議事項
第8号議案 東備西播定住自立圏共生ビジョン(案)について
- (5) その他
- (6) 閉 会

5 議事の概要

事務局 定刻になりましたので、ただ今から、第4回東備西播定住自立圏形成推進協議会を開催いたします。司会進行の赤穂市企画振興部長の橋です。よろしくお願いします。

さて、議事に入ります前に、本日の協議会に傍聴の申し出がございます。

会議の傍聴につきましては、「会議規程」第2条で原則公開となっておりますが、出席委員の過半数の決定により非公開とすることもできます。

本日の議事内容は、お手元のとおりでありますので、会議の冒頭から傍聴を認めたいと思います。

また、写真等の撮影希望があれば「豆田会長あいさつ」までとし、会議中の撮影、録音はできないこととしたい、と考えておりますが、ご異議ございませんか。

「異議なし」

異議なしというお言葉をいただきましたので、傍聴を認めるということで、傍聴の方にお入りいただきます。

しばらくお待ちください。

(傍聴者、報道入室)

どうもお待たせいたしました。

報道の方をお願いいたします。会議中の写真撮影等にご遠慮いただきますので、ご希望があれば、ただ今から会長あいさつまでの間、写真等の撮影を認めたいと思います。

必要な方は、この時間をお願いいたします。

それでは、開会にあたりまして、会長であります赤穂市の豆田市長よりごあいさつを申し上げます。

豆田会長 本日は、ご多忙の中、また遅い時間の開催にも関わらず、第4回東備西播定住自立圏形成推進協議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

昨年12月、各市町議会で議決をいただき、12月25日には皆様の立ち会いのもと定住自立圏形成協定の調印を行い、東備西播定住自立圏が形成されました。次の段階となる共生ビジョンの策定に向け取り組みを進められることとなり、改めて皆様のご理解とご協力にお礼を申し上げます。

現在、事業内容や役割分担などを明記した共生ビジョンの策定に向け事務を進めているところでありますが、ご案内のとおり、去る2月4日に第1回共生ビジョン懇談会を備前市さんが開催されたところであります。

この共生ビジョンは具体的な事業内容等を明記いたすこととなりますが、そのビジョンに基づき国からの支援があるとされており、そういう意味では、より具体的な実施計画の性格をもつものという認識をいたしているところであります。

本日は、第1回ビジョン懇談会に提案されました「共生ビジョン(案)」につきまして、委員各位の忌憚のないご意見をいただきますようお願い申し上げます、開会の挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

事務局 ありがとうございます。

報道関係の方、以上で撮影の時間を終了いたします。

議事に入ります前に、委員のうち備前市議会山崎議長より欠席の連絡を受けております。また、本日の会議には、それぞれの部会から説明員が出席いたしておりますので、自己紹介いたします。

(順に自己紹介)

なお、名簿をお手元に配布しておりますので、ご覧ください。

それでは会長、議事進行をお願いいたします。

- 豆田会長 それでは、3の報告に入ります。
東備西播定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催について、であります。
事務局、説明をしてください。
- 事務局 (2月4日開催の第1回共生ビジョン懇談会について報告)
- 豆田会長 事務局の説明は終わりました。
報告事項について何か質問等ありますか。
- ないようでしたら、4の協議事項に入ります。
東備西播定住自立圏共生ビジョン案について、であります。
事務局の説明に入ります前に、共生ビジョンに関して、この協議会の役割を確認
しておきたいと思えます。
共生ビジョンの策定にあたりましては、事前に3市町の意向を反映させ、ビジョ
ン策定の合意形成をスムーズに行いたいと考えております。
本日この協議会で出された意見はビジョン懇談会で報告し、内容によってはビ
ジョンに反映させたいと思えます。
それでは、事務局より説明をお願いします。
- 事務局 (東備西播定住自立圏共生ビジョン(素案)説明)
ここで事務局よりお願いがあります。
今後、策定されるビジョンに基づき協議会予算の審議をいただき、決定されるわ
けですが、協議会予算の成立を待っては時期を失する事業があります。つきま
しては、掲載事業につきまして異議がないものにつきましては、予算執行を伴わな
い事前実施、具体的には広報等でのPRや事前の交渉等の準備について、実施する
ことをご了解いただきたいと思います。
- 豆田会長 事務局の説明は終わりました。
ここで、先日行われました第1回のビジョン懇談会、並びに、その後の各市町議
会などからのご意見等がありましたら、報告をお願いします。
- 備前市 まず、第1回共生ビジョン懇談会で出されましたご意見等について、ご報告いた
します。
1 「中心市」と「中心的都市」など住民に分かりにくい表現である。
2 事業にインパクトがなく、市民にアピールするものがない。
3 目標や目的を明確に示すべきである。
などの意見が出されましたが、時間的な制約により次回に検討を持ち越しておりま
す。
次に、備前市におきまして2月10日に開催されました総務文教委員会で出され
ましたご意見等について、ご報告いたします。
1 医師の派遣に関する事業がない
2 目的が明確でないので、もっと明確にするべき
- 上郡町 上郡町議会では2月19日に議会全員協議会を開催する予定でありますので、現
時点で特にご報告する事項はありません。
- 赤穂市 赤穂市では2月9日に定住自立圏構想調査特別委員会が開催されましたので、

委員会でのご意見等について、ご報告いたします。

記載している個別の事業についての質疑のほか、

1 市民にこの構想をいかにアピールするかが大切である。

2 医療についてもビジョンであるので、もっと最終的な目的を明記するべきである。

3 海をテーマにした交流や海上交通のあり方にもアイデアを出して欲しい。

との意見が出されました。以上です。

豆田会長 それでは、ビジョン案につきまして、ご質問等がありましたらお願いします。

森山委員 これまで出た意見や提案に対する回答なり、ビジョンの修正なりの案はどのようにするつもりですか。

事務局 ビジョン懇談会では、第1回ということで質疑全般の意見集約ができていません。各市町議会からのご意見や本日の協議会のご意見についても第2回目のビジョン懇談会に報告し、最終的なビジョン懇談会としての意見集約を行っていきたいと思います。

森山委員 例えば、懇談会でアドバイザーの先生から「中心市である備前市と圏域の中心的都市である赤穂市とが連携し」という表現はわかりにくいとの指摘を受けたが、これをいつの時点で修正しようとしているのですか。

事務局 本日のご意見をお聞きして検討することとしているが、最終的には2月19日に予定されている上郡町議会全員協議会でのご意見も踏まえた上で、修正案を検討していきたいと考えています。

森山委員 同時に「キャッチフレーズを入れた方がいいのではないか」とのご意見もいただいていたが、キャッチフレーズはすぐに決まらないのではないか。事務局から提案があれば検討ができるが、時間的制約もあり、この協議会で検討することはないのですか。

事務局 3市町担当者会では検討を行いました。最終的には各自治体の総合計画に掲げるキャッチフレーズとの兼ね合いもあり、外した形で提案をさせていただきました。ただ、ビジョン懇談会ではあった方がいいのではないか、というご意見もありましたので、改めて検討したいと考えています。

森山委員 仮に入れるとすれば、3市町共通のものが入らないかとも思いますし、共通のものを入れることによって、よりわかりやすくなるのではないかと思います。

田淵委員 上郡町は学校給食を取り上げていただいている。建設事業後の持ち出しについてはどうなるのか。もう一点は、赤穂国際音楽祭助成事業の説明を詳しくお願いしたい。また、そういう点でビジョンが明確でないとも思います。

事務局 給食施設について、最初は赤穂市、備前市での余剰分で賄えないかでありましたが、最終的には上郡町で小学校全部実施ということになりましたので、上郡町単独建設の方向ということになりました。ただ、何らかの形で圏域での連携を行い、国からの支援があるよう、現在上郡町で検討していると聞いています。建設は町単独となりますが、ビジョンに載せることによって国からの支援が得られればというこ

とでビジョンからは削除していません。今後、学校給食施設をどういう形で建設するのか上郡町の結論を待って、連携のあり方を検討したいと考えています。

赤穂国際音楽祭については、今年度特設会場の一つを備前市の閑谷学校で開催しました。今後、上郡町でも開催できればと考えていますが、主催する実行委員会や檉本氏との協議を経てから決定をすることとしており、圏域事業として位置づけられる内容であれば協議会で補助していきたいと考えています。

阿部委員 上郡町単独で学校給食施設を建設する場合、共生ビジョンの事業として認めてもらえるのですか。また本当に有利な条件になるのですか。

事務局 ビジョンに位置づけられると国庫補助の優先採択があります。また、地域活性化事業債や、それ以外にも色々な方法があるかと思います。この構想に入る事業かということについては、総務省との協議が必要であり、正式に協議が整った状況ではありません。

阿部委員 備前市、赤穂市の給食施設に拡充などの余地はないのですか。

事務局 部会での検討では、備前・赤穂では対応できないとの結論が出され、町単独建設となったと聞いています。上郡町単独の施設として建設し、上郡町だけに供給するのであれば難しいかと思しますので、何らかの連携を行いながら、圏域で必要な施設であるという考えが必要です。

豆田会長 ビジョンの目的が明確でないとの指摘もありましたが、どうですか。

事務局 目的がはっきりしない、インパクトがないなどの指摘に対して事務局としては、22年度からの事業実施のために、直ちに実行できるものを選びました。箱物など大きな事業がないため、インパクトに欠けるかもしれませんが、新年度から事業着手することが大切であると答えています。

掛谷委員 赤穂の特別委員会、備前の常任委員会でも目的が明確でないなどの意見が出されています。市民は、定住自立圏に関心が薄く、極端に言えば興味がないのでないか。もっと周知・PRが必要ではないですか。

ビジョン（案）では、目的ははっきりしていると思うが目標が明記されていないのでないか。数値的なものも含めて明記するべきだと思います。

事業費の入っていない事業もあるが、それらにも金額を入れるべきと思いますが、どうでしょうか。

備前市が中心となって実施する事業がそんなにない。このため、例えば世界遺産を目指した取組みを行っている閑谷学校で、何らかのイベントでもできないのかと思いますが、どうでしょうか。

事務局 まずPR不足については、まだPRできる段階ではなく、ビジョンが固まればPRができると考えています。

目標値については、人口になるかと思うが、3市町で検討したいと思います。

予算額の記載がない事業は、例えば住民の利便性向上を図ることを目的に施設使用料の条例改正を行うものについては事業費が必要ないため金額を入れていないなど、予算の有無に関わらず実施するという意思表示のため、取り進む事業を全て掲記しています。

閑谷学校でのイベントについては、備前市から事業提案がなかったので掲記して

おりません。今後、具体の提案があれば23年度以降で協議していきたいと思いません。

森山委員 先程から意見が出ているPR不足やインパクトにかけるということについてですが、広く住民に知っていただくという意味からも、現在予定されているフォーラムの開催について、もっとマスコミなりを利用した規模の大きな、充実したものを考えていけば良いのではないのでしょうか。

事務局 フォーラムを大々的に実施するにあたり、どれくらい経費が必要なのかということもあるため、早急に検討したいと思えます。

池田委員 医療連携の事業として、22年度はこれで良いと思うが、23年度以降もずっと同じ内容、金額となっている。次のステップはあるのですか。

事務局 次のステップとして、医師の交流とかを目指したいと考えていますが、現時点ではこの2つの事業にとどまっています。ビジョンの性質上、5カ年の事業費を入れるようになっており、現時点での5カ年計画となっている。毎年見直しを行うので、次のステップへ行けば新しい事業が挙がるか、事業費が増減をします。現在、22年度予算しか計画していないため、23年度以降は特別に予定されるもの以外は、22年度の数字に準拠しています。

西岡副会長 他の圏域を見ても、医師の派遣が事業としてある。具体化した案を作らないといけないのではないかと。新年度から研修医の総量規制があるので、余ってきた医師をマッチングさせるマーケットが必要と思えます。総務省や厚生労働省にそういうマーケットを作り、新年度から始めていきましょうという、働きかけが必要ではないかと思えます。

説明員 赤穂市民病院では現在、医師69人体制でやっています。22年3月末に医局人事の影響により減員となることも考えられますが、補充を医局に頼みに行っても人材がいまいません。また研修医についても後期研修医であればいいが、前期研修医では実際に診療する実力はありません。さらに医局を離れて自分の意思で動く研修医は非常に少ないし、探すことも困難です。提案事項については、現在のところ難しいと思えます。

西岡副会長 医療に次いで、非常に重要なのが交通です。JR山陽本線、赤穂線で具体的にできるところは具体化して交渉に行く。上郡から和気が1時間に1本で、同じことが赤穂線でもあります。いくら陳情に行っても増便は見込めないの、具体的に、どういう補てんを国交省がしてくれるかという具体的な交渉に入っていないかと思いません。その判断がないとこの話は前に進まないのではないかと思いません。

豆田会長 JRへの働きかけについては、3市町長で具体的な行動を一緒にやらないといけません。神戸支社と岡山支社、大阪支社へ一緒になって行くなど、具体的な取組みをしていきたいと思えます。

西岡副会長 上郡町の給食については、運送する距離があり難しい。備前市で余力がある分について、つなぎとしてなら協力するが、永久にする場合は学校給食の性格上よくないと思えます。給食は施策として単独で実施する必要があると思えます。

- 豆田会長 上郡町が単独建設するとしても自立圏の中では、備前市・赤穂市は技術支援を行い、ともに連携して取り組むということで進めてもらいたいと思います。
- 池田委員 産業振興の地域ブランドでは、きちっとした枠組みやシステム作りができないのか。ただ単に、それぞれで作ったものを売るというのでは目的が薄いのではないかと思います。
- 説明員 22年度からすぐにブランド化は難しい。まずは既存のものをPRしていこうということです。次の段階として、それぞれの品物をマッチングしてブランド化していこうと考えています。
- 池田委員 JAでも区域が違う。その垣根を取り払うような考えはあるのですか。
- 説明員 JAも違うし、普及センターなど県との関係も違いハードルが高い面もありますが、次のステップへ向けできるところからやっていきたいと考えています。
- 池田委員 そういう垣根について、特区扱いということはないのですか。
- 豆田会長 逆にそうした障害の解消を国へ要求していく必要があるのではないかと思います。その壁を乗り越えて欲しいというのも総務省の考え方であり、認められるかどうかは別にして新しい仕組みの中で、新しい取組を提案していくこともこの制度であり、そういう問題提起を直接国に提言していければと考えています。
- 掛谷委員 商標登録をして、備前焼のブランド化が決まりました。背景には備前焼にも良いもの悪いものがあり品質保証という意味があります。
日生では食の関係ではカキオコが有名になっています。
岡山市からの流れで両備ガーデンというところで備前カレーを普及しようという流れがあり、現在20箇所くらいがお店を出していて食文化の取組をしています。それを赤穂市、上郡町まで延ばすこともよいのではないかと。難しく考えず、そういう連携を利用しても良いし、逆もあるかと思うので、出来るところからやれば良いのではと思います。
- 阿部委員 スプリング8やX線レーザーの話が出ていないが、備前市や赤穂市の企業に話を持っていくと、かなり使えるのではないかと思います、どうでしょうか。
- 西岡副会長 予約が一杯で使用するのに3年ぐらい掛かると聞いたことがあります。
- 山本副会長 研究結果を公表すれば無料で使用できるし、そこはそんなにたくさん待っていないと聞いています。オープンにすれば無料、秘密にすれば有料ということになる。産業界で使える方法を考えていただきたい。
- 豆田会長 理研がどういうPRをしているか分からないが、企業は既に使っているかもしれない。ただ企業は言いたがらないし、明らかにしてくれません。
- 山本副会長 研究所があり、どういうふうに使えばよいかなどアイデアを出してくれると聞いています。岡山だからダメだという話ではないです。

豆田会長 周知をどこまでしているかわからないが、研究所等を通じてだけかもしれない。もう少し具体的な内容を、商工会議所や経営者協会なりに情報として流してもいいかもしれません。

松原委員 定住のための情報発信ばかりでなく、都会の人を呼び込むためモデルハウスのような集落を各地につくり、生活を体験していただく。一番いいのは直接まちの中の空き家を借りればいいと思うが、都会から来る人はすぐに打ち解けないですから、慣れてきたらまちへ入っていただく方法も考えられると思うが、どうでしょうか。

豆田会長 空き家情報などはどう取り組む予定なのか。

事務局 具体的な移住施策は各市町での実施と考えています。ただ、PR という点では3市町共同で情報発信したり説明会を開催したり、圏域ホームページなどを利用してやっていきたいと思っています。

豆田会長 なかなか投資をして、モデルハウスのようなものを作るというのは難しいと思います。

松原委員 篠山市であったので。

豆田会長 上郡町では、限界集落であっても良いロケーションもある。そういうところの情報発信は必要かもしれない。それがモデルになることも考えられるかもしれません。

松原委員 赤穂市の特別委員会で意見があったが、例えば限界集落へ入りやすい道路整備も必要ではないかと思っています。

事務局 現在、基本的には各市町において定住支援策を実施しています。したがって、圏域の3市町が足並みを揃えて支援策を実施することは現時点で考えていません。それぞれの市町の施策について共同して情報発信を考えています。各市町における施策については、各市町の実態に応じた検討をお願いしたいと思っています。ただ、今後足並みを揃えてできるものがあれば協議会事業として考えていきたいと思っています。

豆田会長 それぞれの市町の単独事業について、今回の赤穂市文化会館のように、有利な補助制度あるいは優先採択、起債など、財政支援の形で選択の余地があるかもしれない。毎年ローリングの中で、新しいものをこれから具体的に3市町で検討していくなか、とりあえず、初年度を出発しないといけないわけですから、先ほどあった、ブランド化・閑谷学校・医療の連携についても、どこかの時点で次のステップへいけないと、今ある部分だけでは弱いと考えます。毎年ローリングするので、しっかり協議して新しいものができるようにしていきたいと思っています。ビジョンという名前がついているが、どちらかといえば実施計画という認識でいいと思います。

池田委員 PRという点では、庁舎に横断幕でも掛ければどうか。

山本委員 昔は上郡の高校に、備前の人がたくさん来ていたが今はいない。この壁が取り除ければ、備前と上郡の人的交流が進む。今は県境のため人的なつながりが弱く、西栗倉の人は高等学校へ行くのに下宿をしないといけない。智頭線があるので佐用や

上郡の高校なら通学ができる。そういう取組みができないものかと思います。

西岡副会長 昔は確かに交流が盛んであったが。

豆田会長 公立高校の境があることが大きな要因だと思うが、これは県教委との話になるのではない。交通の面ではある意味、通勤通学の客が増える仕掛けも作らなければならない。この圏域はそういった提案ができる圏域であるので、実現できるかどうかは別としてお互い県とも協議をしないといけないと思います。

PRという部分では、小規模のフォーラムとなっているが提案があったように、一番にこの辺から取り掛かからないといけないところであるので詳細について事務局で検討をしてもらいたい。

23年度も同じことはできない。交通の関係は具体化へ、地産地消もJAなどのこともあるが具体的にしたい。スプリング8からの情報提供は、理研から企業や商工会などへのシステムにしていれば。定住の関係についてはホームページで工夫をしていただきたい。

西岡副会長 全国唯一の州境の圏域であり、お手本となるように進めればと思います。

池田委員 特別委員会では備前市とは海でつながっており、共同で何か事業ができないかという意見もいただいている。直接、赤穂から船を出すことがあってもいいのではないか。今後検討をお願いしたいと思います。

西岡副会長 漁協はつながりがあるかと思います。

豆田会長 遊覧や観光などもあるかもしれない。ある意味、「水と緑」がキーワードになるような気がします。

松原委員 フォーラムは全体とするのか、各市町でやるのか。

豆田会長 今後具体的な検討をしていくことになる。一番効果が得られるような方法を考えていけばいいのではないかと思います。

他に意見がないようですので、共生ビジョン（案）につきましては、基本的には了承することで、ご異議ございませんか。

（異議なし）

それでは、「東備西播定住自立圏共生ビジョン（案）」につきましては、そのように決めます。

続きまして、5のその他ですが、事務局から何かありますか。

事務局 今後のスケジュールについて、であります。

本日の協議結果は、2月23日（火）に行われます第2回共生ビジョン懇談会でご報告させていただきます。

その後、共生ビジョンが決定されましたら、その報告及び平成22年度予算案の審議のため、第5回協議会を3月中旬以降に開催したいと考えております。議会日程もあり、場合によっては4月にずれ込むこともあると思いますが、ご理解をいただければと思います。

日時等、詳細につきましては、後日調整のうえ連絡させていただきます。

豆田会長

次回の開催日時の通知は、改めて事務局から送付させていただくということで、よろしいでしょうか。

それでは、皆さん、よろしく申し上げます。その他にありませんか。

ないようですので、本日の会議は終了いたします。

ご苦労さまでした。

了

(20時)